

平成29年度
事業報告書



おかげさまで70周年

社会福祉法人 山口県共同募金会

＜はじめに＞

共同募金運動は、70周年を迎えましたが、人口の減少や高齢化の進展、地域住民の連帯感の希薄化などにより、21年にわたり募金総額は徐々に減少しています。

こうした中、中央共同募金会では、平成28年2月の「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造」と題する答申を受けて「70年答申に基づく推進方策」を策定したところであり、本会においてもこの答申等を踏まえて「共同募金の運動性の再生10年方針」を3月に策定しました。

今後は、この方針に基づき、誰もが住み慣れた地域で社会の一員として安心して暮らすことのできる社会をめざし、社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会、自治会等の地縁組織、当事者団体、社会福祉法人、ボランティア団体、NPO、企業、行政など、共同募金に関わる関係機関・団体等と連携・協働し、これまで以上に幅広い県民の皆様参加を得て、共同募金運動の積極的な展開を図りたいと考えています。

平成29年度の募金活動については、目標額を3億8,100万1千円とし、これを目指して各市町共同募金委員会と連携して積極的に取り組んだ結果、多くの県民の皆様方や企業・団体などのご協力をいただき、3億5,375万円余の実績を上げることができました。お寄せいただいた募金については、県域や地域での福祉活動助成、歳末たすけあい助成などに活用し、地域福祉の推進を図ることができました。

募金にご協力をいただいた方々に対し、心からお礼を申し上げます。

1 共同募金運動の取組の推進

(1) 「赤い羽根共同募金運動再生のための検討委員会」の設置・検討

新たに、外部委員も加えた検討委員会を設置し、70年答申及びその推進方策の実現に向け、本会が重点的に取り組むべき事項等を検討し、今後10年の取組方針となる「山口県共同募金会共同募金の運動性の再生10年方針」を策定しました。

今後はこの方針に沿って、共同募金運動の活性化を図ります。

(2) 募金増額に向けた新たな取組

① テーマ募金の本格的な展開

県域テーマ募金に3団体、地域テーマ募金に3団体の計6団体からの申請を認定し、それぞれの団体が、課題解決に向け自ら取り組んでいる活動を前面に掲げて、テーマ募金を展開しました。

目標額：560万円　募金額：506万円余

② 募金百貨店プロジェクトの推進

企業等とのより良い関係づくりを図るため、企業等の考え方や要望などを把握するための情報交換会を開催しました。

・募金百貨店プロジェクト参加企業情報交換会

11月16日　参加企業等：23社・団体、26人

[H29募金額]　8,176,634円（前年度：6,576,407円）

③ UMOUプロジェクト in 山口の推進

いらなくなった羽毛製品の寄付が地域福祉活動の一助となる「UMOUプロジェクト in 山口」を、環境問題やゴミ削減に取り組む行政や団体と連携して推進しました。

- ・回収羽毛出発式の実施

10月30日、会場：防府市クリーンセンター

(3) 一般募金

目標額：2億8,305万円余 募金額：2億6,113万円余

① 主な方法別募金実績

- ・戸別募金：1億9,118万円余（前年度：1億9,384万円余）
- ・法人募金：2,666万円余（前年度：2,634万円余）
- ・職域募金：1,229万円余（前年度：1,279万円余）
- ・イベント募金：918万円余（前年度：960万円余）

② 県共募における取組

法人募金や職域募金の拡大を図るため、市町共同募金委員会と連携・調整しながら、法人募金や職域募金の呼び掛け先の新規開拓に努めました。

- ・依頼先：1,237件 募金額：152万円余（前年度：185万円余）

(4) 歳末たすけあいの実施

① 地域歳末たすけあい運動

市町共同募金委員会が、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、自治会・町内会等と協力して「地域歳末たすけあい運動」を行いました。

- ・募金額：8,043万円余（前年度：8,285万円余）

② NHK歳末たすけあい

NHK山口放送局の協力をいただいて募金活動を実施し、昨年度を上回る募金をいただきました。

- ・募金額：711万円余（前年度：635万円余）

(5) 遺贈・相続寄付の受入体制整備

遺贈・相続寄付に取り組むため、職員を研修会に派遣しました。

2月17日 テーマ：NPOを取り巻く法律と税務 2名派遣

2 助成に係る取組

(1) 審査委員会の助成審査機能強化支援

効果的で波及的な、地域助成、地域歳末助成を行う取組を支援するため、配分委員会及び市町審査委員会の正副委員長を対象とした研修会を開催しました。

2月16日、参加者 38人

- (2) 全国共通助成テーマ「地域から孤立をなくそう ～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」の推進
全国共通助成テーマを踏まえた、県社会福祉協議会がモデル的に実施する「小地域福祉活動強化事業」を支援しました。
・事業費：1,800万円、実施地域：11市31地域
- (3) 県域助成
申請された全ての団体について、配分委員会委員がヒアリング又は現地調査を行い、助成について審査しました。
・助成申請額：4,047万円
・申請団体：42団体、現地調査：8団体、ヒアリング：34団体
- (4) 助成先の拡大
NPO等の活動団体や県・市民活動支援センター等の中間支援組織との連携を図り、地域課題の把握、助成対象の拡大に努めました。
・県民活動支援センター説明会への参加（2月13日）
- (5) 災害見舞金の支給
火災などの被害者に対して見舞金の支給を行いました。
・86件 支給額 147万円

3 組織運営の確立

- (1) 市町共同募金委員会の支援
市町が実施する共同募金運動推進のための活動に対して支援を行いました。
・共同募金運動推進特別強化支援事業 4件 748,757円
- (2) 赤い羽全国ミーティングへの派遣
「赤い羽根全国ミーティング」に市町共同募金委員会及び県共同募金会の役職員を派遣しました。
・市町共同募金委員会：7人
・県共同募金会：2人
・県社会福祉協議会：2人
- (3) ボランティア養成の実施
市町共同募金委員会が行う募金ボランティア説明会の開催など、募金の増額につながる取組を支援しました。
・共同募金ボランティア養成事業：1市1町8地区 34万円

- (4) 都道府県共同募金会職員研修会への職員の派遣
中央共同募金会が行う都道府県共同募金会職員研修会に職員を派遣しました。
4月27日～28日 1名派遣
- (5) 県社会福祉協議会との人事交流の継続
県域での新しい地域課題の把握や必要とされる活動、テーマ募金との連動等について県社会福祉協議会との一層の連携を図るため、人事交流を実施しました。

4 共同募金運動 70 周年を契機とした広報・啓発の推進

- (1) 70周年にふさわしいオープニングセレモニーの開催
ゆめタウン山口においてオープニングイベントを開催し、レノファ山口FC公式マスコットキャラクター「レノ丸」を応援大使に任命するとともに、亀山幼稚園児による鼓隊演奏やANA客室乗務員による「空の第一便」伝達などを行いました。
- (2) 赤い羽根出前授業の実施
山口県立大学の赤い羽根啓発サークル「MEP」（未来に笑顔をプロジェクト）の学生による、中学生を対象とした赤い羽根出前授業を実施しました。
1月24日、2月7日、大内中学校2年生8クラス
- (3) 広報の推進
赤い羽根のPRを積極的に推進するため、行事資料をマスコミへ積極的に配布するとともに、募金資材として、レノ丸とコラボした募金バッジ・シールの作成などを行いました。

5 災害支援対策の実施

- (1) 災害等準備金の積立
大規模災害の発生に備えて災害等準備金の積立を行いました。
・積立額：1,000万円
- (2) 県内の火災等の被災者への見舞金の支給（再掲）

6 法人機能の充実と効率化の推進

- (1) 社会福祉法人制度改革への対応
改正後の定款に基づいた適正な法人運営に努めました。
- (2) 役員会等の開催
法人の適切な運営を図るため、理事会（4回）、評議員会（3回）、配分委員会（2回）を開催しました。

- (3) 業務の円滑かつ効率的な運営
事務・事業の合理化に配慮するとともに、必要に応じて規程・規則等の見直しを行いました。
- (4) 市町共同募金会への支援等
市町共同募金委員会の機能充実のための支援を行うとともに、本会との連携及び相互の連携強化を図るための取組を実施しました。
- ・共同募金運動推進特別強化支援事業（再掲）
 - ・市町共同募金委員会事務局長・担当者会議（6月26日、8月24日、3月6日）
- (5) 情報公開
事業運営の透明性を高めるため、ホームページ等を活用して、積極的に情報公開を行いました。

7 民間資金による助成事業への協力

- (1) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
審査・推薦については中央共同募金会に業務を依頼して、実施しました。
- ・3件、559万円
- (2) 車両競技公益資金記念財団助成事業
本会において推薦を行いました。
- ・5件、1,586,700円

8 受配者指定寄付金の受入れ・審査及び本制度の積極的活用

- (1) 受配者指定寄付金
社会福祉に著しく寄与すると認められる緊急性の高い用途を指定した寄付申込みについて、審査基準に基づき、寄付者及び配分対象の実態を十分調査の上、適正に審査し、中央共同募金会への進達を行いました。
- ・6件：41,164,210円（配分額）
- (2) チラシの配布及びホームページでの呼びかけ
社会福祉法人、医療法人等へチラシを配布し、税制の優遇措置が受けられる受配者指定寄付金について普及・啓発に努め、積極的活用を働きかけました。併せて、ホームページでも呼びかけました。
- ・山口県老人福祉施設協議会、山口県社会福祉法人経営者協議会、医療機関

9 共同募金協力者に対する顕彰

(1) 厚生大臣表彰

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	岩崎 昌彦 竹本 恵治	宇部市 山口市	11月22日 ・全国社会福祉大会 (メルパルクホール)
奉仕団体	八葉寺 山口県立南陽工業高等学校 青少年赤十字部	下関市 周南市	

(2) 中央共同募金会会長表彰

表彰種別	受賞者	市町名	備考
優良地区・ 団体	田布施町共同募金委員会	田布施町	11月22日 ・全国社会福祉大会 (メルパルクホール)

(3) 山口県知事表彰

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	下園 敏男 山根 喬二郎 山本 誠一	宇部市 宇部市 下松市	10月26日 ・山口県総合社会福祉大会 (周南市文化会館)
奉仕団体	国際ソロプチミスト下関 (株)三宅商事	下関市 山口市	

(4) 山口県共同募金会会長表彰

表彰種別	受賞者	備考
奉仕者 (26人)	山本十三日、大満初男、江嶋亜企雄、木下 昇、 田中直治、三隅健志、村木継明(宇部市)、 土井 章、原田義久、大橋俊夫、橋本正人、 豊嶋 誠、原田新作、中林堅造、福田一夫、 三井 淳、池永日出夫、重枝 操、平野定男、 原田興昌、清水計登、津穂敬信(防府市)、 磯永千代子、藤井フミ子、古田尊子(下松市)、 裕 菊子(柳井市)	10月26日 ・山口県総合社会 福祉大会 (周南市文化会 館)
奉仕団体 (16団体)	岩国市老人クラブ連合会美川支部、社会福祉 法人光教会障害者支援施設ひかりの里、岩国 市立柱野小学校、施設訪問団カトレア、岩国 市連合婦人会周東支部、岩国市食生活改善推	

	進協議会 周東支部（岩国市）、社会福祉法人白鳩学園、周南市手をつなぐ育成会徳山地区、周南市立富田東小学校、周南保護区保護司会、周南市立久米小学校、周南市立岐山小学校、周南市母子寡婦福祉連合会、周南市立菊川小学校、周南市立和田小学校（周南市）、タイヤマート矢次（阿武町）	
感謝個人 （1人）	川本和恵（山口市）	
感謝団体 （3団体）	菊川シネマクラブ（下関市）、周南水処理株式会社、周南汽缶工事株式会社（周南市）	